

議会により 第**71号** 令和 2 年 3 月定例会(第 1 回)



○3月定例会のあらまし・・・・P2~P5

○一般質問・・・・・・・ P6~P11

○議決結果・・・・・・・・・P12

○意見書及び事務調査・・・・・P13

〇シリーズ「健康づくり推進」 · · · P14





報告2件、承認1件、議案30件、その他1件、発議1件 が提出され、審査しました。

令和2年3月4日~3月17日

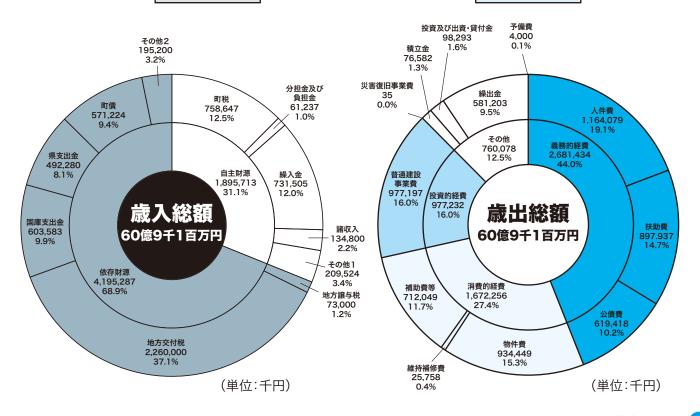
令和2年度

令和2年度一般会計当初予算の歳入歳出の規模は、60億9,100万円で、前年度比 2億2, 700万円(3.9%)の増となっています。

新規事業の主なものとして、高原町地域福祉計画策定業務、子育て世代包括支援事業、 高原町就職奨励金事業、SWC(スマートウェルネスシティ)推進事業、高原町地域防災 計画改定業務、教師用教科書購入事業、土橋遺跡本調査事業、二葉並木線区画線などの道 路維持事業、祓川旭台線(祓川工区・旭台工区)の舗装打換工事などの道路補修事業、 狭野祓川線などの橋梁修繕事業、鹿児山団地58-1棟屋上改修事業、社会資本整備総合 交付金事業並木旭台線歩道設置事業など57事業が計上されています。

歳

歳 出



令和2年度 一般会計当初予算の重要施策の概要 ※主な事業のみ掲載

(1) 「町民の誰もが住み続けながら、豊かさと幸せを実感できる町づくり」事業の着実な推進

① 農林畜産業、商工業の振興と雇用の創出

- 農地中間管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・489万9千円
- ◆ 農業次世代人材投資事業・・・・・・・・・・・・・・・・375万円
- たかはる農業人「財」確保支援事業・・・・・・・・・・・353万1千円
- ◆ たかはる園芸担い手応援サポート事業・・・・・・・・・・・・・300万円
- ▶ しいたけ等特用林産物生産基盤強化事業・・・・・・・・・・・394万3千円
- ▸ 森林管理経営制度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・300万円
- 高原町再造林支援事業・・・・・・・・・・・・・・・152万5千円
- ▶ 高原町和牛ブランド確立対策事業・・・・・・・・・・・・・595万円
- ▶ 県営畑地帯総合整備事業 後川内1、2期地区・・・・・・・・・2、844万円
- ・ 県営畑地帯総合整備事業 鹿児山1、2、3期地区・・・・・・・・948万円
- ふるさと納税特産品贈呈事業・・・・・・・・・・・・1億5,000万円
- 高原町就職奨励金事業・・・・・・・・・・・・・・・・・120万円

② 観光振興による交流人口の増

- ◆ 夏まつり事業・・・・・380万円
- 日本発祥地まつり事業・・220万円
- ・ 高原町観光パンフレット増刷事業
 - ・・・・・・・125万3千円
- ▶ 高原町観光まちづくり御池魅力向上 推進事業・・・・・・300万円



△皇子原公園現地調査

③ 移住・定住の推進

-58万3千円 ◆ 都市圏PR事業・・・・・・
- ▶ 地域おこし協力隊員設置事業・・・・・・・・・・・・・429万7千円
- ▶ 空き家バンク事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・129万6千円
- ▶ 移住・定住支援金事業・・・・・・・・・・・・・・・・・700万1千円
- ▶ 定住促進住宅整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4, 290万円
- ◆ みやざきひなた暮らしUIJターン支援事業・・・・・・・・・・・420万円

④ 子育て支援

- 地域子育で支援拠点事業・・・・・・・・・・・・・・・・・596万7千円
- 一時預かり事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・500万3千円
- 子育で世代包括支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・173万7千円
- ◆ 放課後児童健全育成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,113万8千円

•	乳幼児医療費助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,368万6千円
•	子ども医療費助成事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・1, 096万3千円
•	小・中学校給食費補助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1,399万4千円
⑤ 唐	。 5齢者支援
•	敬老会事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175万5千円
•	養護措置委託事業・・・・・・・・・・・・・・・・・1億190万円
•	老人クラブ活動事業・・・・・・・・・・・・・・・・140万2千円
•	高齢者の生きがいと健康づくり事業・・・・・・・・・・・ 397万1千円
•	緊急通報機器貸与事業・・・・・・・・・・・・・・・・166万4千円
•	住宅高齢者転倒予防住宅改修費助成事業・・・・・・・・・・・50万円
•	在宅高齢者介護予防福祉用具購入費助成事業・・・・・・・・・・30万円
⑥ 址	地域交通の充実
•	地域交通機関運行維持対策事業(乗合タクシー、廃止路線代替バス、
	地域交通機関運行維持対策事業(乗合タクシー、廃止路線代替バス、バス停留所屋根設置事業)・・1,079万4千円
⑦ 健	#康づくりと地域医療の充実
•	健康づくり推進活動事業・・・・・・・・・・・・・・828万5千円
•	健康増進事業(健康教育事業、健康診査事業、訪問指導事業)・・1,879万8千円
•	予防接種事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3,026万7千円
•	妊産婦健康診査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・504万3千円
•	病院整備事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1億345万1千円
•	SWC(スマートウェルネスシティ)推進事業・・・・・・・・・・68万円
(2) 老村	5化公共施設等の更新等の推進 1987年 - 1987年 - 19874年 - 1987年 - 1987
•	鹿児山団地58-1棟屋上改修事業・・・・・・・・・・・452万2千円
•	社会体育施設改修事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・300万円
•	狭野保育所大ホール床張替事業・・・・・・・・・・・・124万9千円
•	旧高原中学校体育館内バスケットゴール撤去事業・・・・・・・・・・44万円
(3) 行則	材政改革推進事業
① 47	Z納対策事業
•	コンビニエンスストア収納業務事業・・・・・・・・・・・・・69万3千円
•	収納率向上対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・121万4千円
② 	
•	町内小中学校用務員業務委託事業・・・・・・・・・・・・・・・・604万1千円
•	学校給食調理場業務委託事業・・・・・・・・・・・・・・・・3,74千円

【主な新規事業】

- 農業水利施設危険管理対策事業並木地区・・・・・ ・・・・・300万円
- 上後川内多目的集会施設改修工事・・ ・・・・226万3千円



△並木地区農業水利施設



△上後川内多目的集会施設

- 高原町地域防災計画改定業務・・・・・・・・・・・・823万9千円
- 道路補修 並木旭台線旭台工区(舗装打換工事)・・



△上町霧島団地線道路排水



△並木旭台線

- 道路補修 祓川旭台線祓川工区・旭台工区(舗装打換工事)・・・・・5,600万円
- 道路補修 花堂佐土線佐土工区(舗装打換工事)・・・・・・・3,000万円
- 社会資本整備総合交付金事業並木旭台線歩道設置事業・・・・・5,051万7千円

	区分	令和2年度当初予算 (A)	平成31年度当初予算 (B)	比 増 減 額 (A)-(B)	較 増減率 (%)		
	一般会計	6, 091, 000	5, 864, 000	227,000	3. 9		
	住宅新築資金等貸付事業	8 5 2	1, 152	△300	△26.0		
特	農業集落排水事業	27, 269	26, 899	3 7 0	1. 4		
別	国 民 健 康 保 険	1, 522, 493	1, 596, 872	△74, 379	△4. 7		
会	介護保険事業 保 険 勘 定	1, 332, 204	1, 317, 712	14,492	1. 1		
計		5, 464	4, 798	6 6 6	13.9		
	後期高齢者医療	3 1 2, 0 5 2	309, 289	2, 763	0. 9		
企	水 道 事 業 会 計	3 0 4, 7 1 5	308, 990	△4, 275	△1. 4		
企業会計	病 院 事 業 会 計	1, 119, 082	1, 134, 911	△15,829	△1. 4		
計	工業用水道事業会計	2, 063	2, 096	△33	△1. 6		
	総計	10, 717, 194	10, 566, 719	150, 475	1. 4		

※企業会計については、収益的支出及び資本的支出の合計額

(単位:千円)



問

避難行動要支援者名



ふくざわ **福澤** たくじ 卓志議員

具体的な避難計画を作成 同意を得ながら、 簿が必要だと考えるが。 意が必要となる。 今後は、 いるが、名簿提供には同 名簿の作成は出来て 個別に

らゆる手段で情報の伝達 町メールサービスなどあ 供が必要だと考えるが。 また、自治会の加入促進 送付などは考えていない。 を図っているが、個別に 対しても防災、情報等提 問 自治会未加入世帯に 防災行政無線や高原

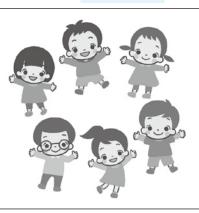
> 問 小規模でも防災訓練

えるが。 避難訓練が必要だと考

を実施していく。 組織なども活用して訓練 めるためにも、 被害を最小限度に止

○高原町未来財産

サポート体制も含め、



答

配置が必要だと考えるが。

童発達支援管理責任者の

よる個別の相談等も行っ

答

防災力強化研修では、

が必要だと考えるが。

問

自主防災組織の強化

○地域防災計画

していく。

する予算を計上されてい の計画は たが、現在の状況と今後 問 子ども貧困対策に関

推進していく。

を図っていく。

成も図りながら、

活動を

は、防災士等のリーダ育

主防災組織がある。

今後

公民館を中心に20組の自

頂いた。町内には各自治

11会場162名の参加を

援などを検討していく。 康・生活支援、学びの支 や保護者及び子どもの健 ネットワーク体制づくり 中である。今後は、 了し、集計及び分析作業 答 アンケート実施が終 支援 答 問 各小学校区に学童保

自主防災 問 環境については、

から義務教育終了までの 特別支援児童の学習 幼年期 いく。 後川内校区以外の4施設 会」が必要だと考えるが。 ように「まちづくり協議 問 ている。 育が必要だと考えるが。 111名の児童が利用し 現在、広原校区及び 高原町にも隣の市の 今後も協議して

ており、新たに相談員を 現在、教育相談員に 児 答 政と連携してまちづくり を進めている。 て取り組まれており、行 自治公民館が中心となっ 中学校については統 本町では、行政区や

答 含めて検討する必要があ 検討員会の中で協議され ると考えるが。 合し、交通支援策なども 今後、学校のあり方

ていく。

も含めたサポート体制に

ついても協議して行く。

管理責任者の配置の検証

く。今後、児童発達支援

さらなる充実を図って行

1名増員して支援体制の

6

んでいく。

畜産分野では、

園芸作物支援事業に取組

せ「生農地(いのち)の水」 施設園芸を支援する活か 担い手応援サポート事業、 施設整備を支援する園芸

和牛ブランド確立対策事

繁殖雌牛郡整備のための

担い手農家の機械導入や

所得安定対策事業、

園芸

耕種部門では、

経営

進めていくのか。

ためにどのような政策を

問

地場産業を振興する

優等賞

○農業振興政策

に回えてことと



^{すえなが} **未永**

交付していく。

業、 疫事業、 造成支援事業、 材投資事業で給付金を 高能力優良乳用牛 農業次世代人 家畜防

NEPON

△施設園芸用温風暖房機

(上後川内地区 入木真一さん家族と…)

※和牛ブランド事業対象牛

問 なわれているのか。 「特A」取得対策はおこ 本町でのヒノヒカリ

して、 関係機関と連携して取組 学び、後に続けるように 身近にある先進事例から 期での防除などの基本的 な取組を再認識いただき、 きめ細やかな水管理、 霧島地区の自治体と 良質な土づくり、 適



○道の駅

く考えは。 問 道の駅」 防災拠点施設として を整備してい

地方交付税などの減少な 現在の財政状況は、

> どにより厳しい状況であ る。

○食味ランキング「特A」

○陳情書

提出された。 問 の署名が集まり陳情書が る会」より4, 「高原に道の駅を作 628名

答 る。 真摯に重く受け止

国土強靭化地域計画策

定

の考え方につい 強靭化地域計画策定方針 問 高原町における国 土

域計画に基づいて行われ 討されることから、 対し予算の重点化が図ら る補助金・交付金事業に に策定し各種事業を中心 に地域計画に盛り込んで 更には要件配分も検 国は、 国土強靭化地 早急



いるか。

態はどのように把握して

教職員たちの勤務実

については白紙である。

など反対の声を押し切っ 過労死が増える」 的に把握する T機器の導入により客観 後はタイムカードやIC 個人の自主申告。

える。 答 告があると告発もあるが。 問 虚偽報告はないと考 学校現場から虚偽報

されているか。

のストレスチェックはな

て、

安倍政権は公立学校

問

0

だ。教育長はどのように

教職員を増やすことと不

時間労働を解決するには

要不急の業務の大幅削減

成立させた。教職員の長

変形労働時間制」を強行

の教職員に「1年単位の

答

制度を導入しても教

きるものではない。

職員の勤務時間を縮減で

考えるか。

ンについての方針は。 0時間以内のガイドライ 問 月45時間、 年間36

問 対応を協議している。

今

5, 教員は2018年度で 212人。 先生たち 精神疾患で休職する

ないため実施していない 務ということで、該当し 50人以上の職場が義 検討する

○学校事務用品

通販などから購入せ

答 とは重要であり、各学校 町内業者から調達するこ 地元から購入を。 紙は95%が町内業者。

に周知徹底する。

○福祉行政

は。 減に伴う待機児童の対応 問 認定こども園の定数

答 保育施設への入所調整を に減員し、 定員を70名から35名 その分は他の



るか。 問 病後児保育はどうな

> 施する。 応募のあった事業者で実 ないため、 答 交付金の対象になら 町単独事業で

問 再開を。 訪問入浴サービスの

た。 になり、 員や入浴車の維持が困難 利用者が少なく、

○防災対策

設置を。 みが未設置。停電時に業 用電源は県内では本町 務継続をはかるうえでも 問 防災拠点庁舎の 非常 0

とからほほえみ館に非常 た場合、災害対策本部を までの間に庁舎が被災し 用電源を早急に整備する。 ほほえみ館に設置するこ 新庁舎が建設される する。

なげ、

新たな雇用を創出

○公約



じゅんいち **淳一議員**

としているのか、町長の

るが高原をどこに導こう

高原創生を唱ってい

念を持ってやっていく。 ものを取り入れながら信 るものは継続し、新しい

○町づくりの考え方

問 の活性化及び雇用創出は。 若者流出防止と産業

農畜産業の振興、高原町 地への企業立地の推進 フリーウェイ工業団

問

今のまま何もしない

○町民の声

図る。また、豊かな資源 しを行い、定住の推進を 本町企業への就職の後押 就職奨励金事業を開始し る。 受け入れ町政運営に当た と高原がだめになる。

町民の反応は真摯に

を活用し観光客増加につ ○決断

がある。 問 職員が犠牲になる可能性 の恐れがあるとしている。 庁舎は震度6で倒壊

> 答 組んでいく。 考えながら優先的に取り 公共施設の配置等を

○発想力

の考えを高妻カラーとし て打ち出すべき。 小さいことでも自分

設計図が見えてこない。

事業を着実に継続す

例を参考にする。 勉強しながら紹介事

とる位の度量があっても よいのでは。 てみろ!」責任は自分が 「予算をつけるからやっ 若い職員の発想に

める。

する。 創的なアイデアを持つ職 答 若い職員の中には独 員もいる。今後の参考に

○町立病院

が必要なのでは 信について意見する委員 患者減少の原因、 確

い。

答 個別の案件にも対応する ことで信頼回復をしてい 原因分析はしている。



○道の駅建設

のでなければならないと いが、道の駅が公共のも であればやぶさかではな 問 多くの町民が望むの いう根拠はない。

現時点では整備は出来な 後の推移を鑑みたとき、 本町の財政状況や今 る。 ページの出し方を検討

○町内の危険箇所

問 危険箇所の改善は。 道路、 河川、 水路 等

ては、 ている。 で点検や対策内容につい しホームページで公表し リストアップした上 対策一覧表を作成

って危険箇所の把握に努 な状態もある。一丸とな 夜間における調査は。 特に雨の夜など危険

いては。 示している。今後ホーム 答 という町民との約束につ ある程度の目安は明 いつまでに修繕する

す



るのではいいのではいい。



_{よしあき} 宜昭議員

績は。

^{ぬくみず} 温水

管理計画 ○高原町公共施設等総合

問 計画概要の推移は。

答 軽減を計る。 有総量の縮小、 長級職員で構成。 長をトップとして、 平成2年3月に副町 更新負担 施設保 各課

問 推進体制の構築は。

答 元化、 善を実施する。 公共施設の情報を共有 把握と計画の改善を進め 施設管理の進捗状況 定期的な評価と改

> 問 施設改修、 更新の実

町内各小・中学校体

答 間で1億7,270万円。 育館他の改修費用に3年

庁舎新築への取組は。

答 検討委員会へ諮問予定。 の有識者や住民の代表者 検討委員会で検討後外部 で構成の公共施設等整備 令和2年に公共施設

た要因は 計画が実現に至らなかっ 問 本町の公共施設等の

討していく。 答 がかからない在り方を検 ったが後世へ過度の負担 厳しい財政状況があ



状は。 財政確保に向けた現

答 源増へ向けた町税や寄附 源に頼っている。自主財 地方交付税を含む依存財 算の3%の割合であり、 19億程度であり、当初予 金確保が課題である。 本町の自主財源は約

知は。 問 国・県の予算情報察

答 へ取り組む。 を密にしながら事業導入 国・県と情報や連絡

は。 問 納税者に対する啓発

答 上を目指す。 適正課税と収納率向 町税は約7億円であ また、 毎年

は。

施し、 を通したチラシ回覧を実 広報誌の掲載や区長会等 を整備している。 コンビニ収納等納税環境 口座振替の推進や

は。 問 町全体の債権と対策

問 答 整え滞納抑止につなげる 策を実施し、 徴収猶予や分納誓約等の 国保税、診療費である。 納税相談の実施等徴収対 債権管理条例の制定 未収金の9割が町税 収納環境を

答 県内9自治体が債権

> 努めていく。 体を検証し、今後も納税 理については、近隣自治 管理条例を制定。一元管 義務者の公平・公正化に





けいすけ **圭介議員**

○教育・保育施設支援

きないか。 つき、事務負担軽減はで 設に新たに求めた事務に 問 幼保無償化に伴い施

る事務につき、軽減が図 副食費の徴収に関す

問 各施設への支援は。

答 成について検討する。 会の開催、 行政主導による保育 人材確保• 育

られるよう検討する。

○病院の人件費

理由は。 職員について、給料表が 一般職職員と同一である 医師以外の医療技術

定した結果である。 労使交渉において決

ある。 級を適用するのは無理が 問 見直すべきでは。 般職職員と同じ職

答 の中に加える。 指摘の点についても検討 立て直しが大きな目的。 すすめているが、経営の あらゆる面で改革を

る理由は。 用当初から正規職員とす 問 人員配置につき、任

に確保が困難な状況。 医師も含め、慢性的 経

ていく。 聞きながら、 も勘案し、院長の意向も 営に人件費が与える影響 採用は考え

○HPVワクチン接種

ついて考えは、 施すべき。独自の通知に 義務である接種勧奨を実 踏まえた上で、自治体の 問 予防接種法の趣旨を

勧奨する。 知を行う。併せて検診も 考に、本町でも独自の通 他自治体の取組を参

○報酬見直し

等につき、全体的にその 額を見直すべきでは。 非常勤特別職の報酬

> 改めるよう努める。 が生じないよう、 答 近隣自治体と不均衡 適正に

○商工業支援

らも呼びかけては。 問 にならない程度に町長か お手伝いはできる。強制 で飲食や買い物する等の 我々は、例えば町内

答 できるだけ普段通りの生 態の正しい認識が重要。 さんが減っている情報等 とは可能。飲食店でお客 活が送れるよう伝えるべ も職員間で話はする。 (意見) 流感等の際は実 職員に呼びかけるこ

問 町長の考えは。 商工業支援について、 き。

答 ような支援の仕方を考え 若い人たちが伸びる

> る。 での消費の喚起につき また、 町民への町内

援する。 商工会を支



令和2年 第1回定例会議議決結果

議案番号	件名	議決結果	水		③ 前 原 淳 一	④中村昇	当吉	11年	ゕ	⑧福澤卓志	元	谷
報告第1号	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について	-		-	-		-	-	-	-	-	-
報告第2号	専決処分について(専決第6号)損害賠償の額を定めるこ とについて	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
承認第1号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	承認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第 1 号	令和元年度高原町一般会計補正予算(第6号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第2号	令和元年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予 算(第1号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第 3 号	令和元年度高原町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第4号	令和元年度高原町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第5号	令和元年度高原町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第6号	令和元年度高原町病院事業会計補正予算(第1号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第7号	課設置条例等の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第8号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第9号	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第10号	高原町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第11号	高原町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営 に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第12号	高原町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第13号	高原町児童館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第14号	高原町印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第15号	高原町営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	0	•	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第16号	高原町介護保険条例の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
議案第17号	高原町手数料条例の一部を改正する条例	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
議案第18号	町道の認定について	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第19号	令和2年度高原町一般会計予算	可決	0	•	•	•	0	0	0	0	0	-
議案第20号	令和2年度高原町住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第21号	令和2年度高原町農業集落排水事業特別会計予算	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第22号	令和2年度高原町国民健康保険特別会計予算	可決	0	•	•	•	0	0	0	0	0	_
議案第23号	令和2年度高原町介護保険事業特別会計予算	可決	0	0	0	•	0	0	0	0	0	-
議案第24号	令和2年度高原町後期高齢者医療特別会計予算	可決	0	0	0	•	0	0	0	0	0	_
議案第25号	令和2年度高原町水道事業会計予算	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	議案第26号 令和2年度高原町病院事業会計予算に対す る修正動議	否決	•	0	0	•	•	•	•	0		-
議案第26号	令和2年度高原町病院事業会計予算	可決	0	•	•	0	•	0	0	•	0	_
議案第27号	令和2年度高原町工業用水道事業会計予算	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第28号	損害賠償の額を定めることについての撤回について	許可	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第29号	損害賠償の額を定めることについて	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
議案第30号	令和元年度高原町一般会計補正予算(第7号)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
発議第1号	新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書(案)	可決	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
			_	_			_				$\overline{}$	_

「O」: 賛成、「●」: 反対、「除」: 除斥、「棄」: 棄権、「欠」: 欠席

新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

中国で発生した新型コロナウイルスによる感染症は、世界各地に拡大し、多くの感染者や死者が発生して おります。また、日本国内におきましても、現在も全国各地での報告が行われ、終息が見通せない状況であ

このような中、政府からはスポーツや文化イベントの自粛や学校の一斉休校といった要請が行われ、国民 生活が一変しております。また、根拠のない情報や風評により、医療物資が供給されない状況が続いている ほか、観光関連産業や飲食業、農林水産業など、地域経済への影響は計り知れないものとなっております。

このような状況にあっては、国と地方自治体が一体となって迅速かつ適切な対策を講じていく必要があり ますが、今後の感染拡大を防止し、国民の生命と健康、生活を守るためには、まず、国において教育や経済 などあらゆる分野への十分な支援や財政措置が極めて重要であると考えます。

よって、国に対し、対策強化等を求める意見を提出しました。

高原町を見つめる 委員会所管事務調査

総務経済常任委員会

- ◎調査期日 / 令和2年2月17日(月)
- ◎調査事項 / たかはる温泉郷旅館組合の活動方針や取り組み等について
- (1) 指定管理者の観光振興の考え方とその取り組みについて・・・自然豊かな皇子原と御池でイベントを 行うことによって、地域の活性化を図りたい。宿泊等の環境を整えることによって、高原町の魅力を 発信していける。取り組みとしては、皇子原コテージ、テントを利用してもらい、温泉に入ってもら う。組合のイベントとしては、町民向けにいいふろの日(11月26日)がある。奥霧島の秘湯とし て、温泉組合で売り込んでいく。
- (2)皇子原公園の事故防止とその対策について・・・安全対策を講じながら運営していきたい。
 - ていきたい。
 - (4) 遊具施設の状況について・・・遊具の撤去は国の 基準に沿って実施する。
 - (5) 御池観光構想について(計画等)・・・建物3か 所については、進入路の整備が終わってからと考 えている。キャンプブームで利用者は1.5倍ある が、コテージは逆に利用者が減っている。学校行 事は減っているので、今後は営業に力を入れてい <。
 - (6) レストハウス・・・スポーツ少年団の宿泊に利用 して、朝食等の提供もしている。バンガローの施 設状況について、構造上の苦情はある(ロフトの 階段)。利用する棟を残していく検討をしている。
 - 🕠 (7) その他・・・集客に関して、エクスペリア(大手 旅行会社)を利用する(インバウンド対策)。ど この施設にも木が多いので徐々に切っていく。皇 子原公園で、キャンプのイベントが出来る様に企 画している。ゴーカートは渓流釣り場と同じくら

いに人気が あるので、 整備しなが ら維持して いきたい。



感想等、	、ご自由にお書きください。	

議会への提言・疑問・質問・議会だよりの

いつまでも たのしく みんなで健康に



くり推済



平成31年3月の定例会にて「高原町健康づくり推進条例」 が制定されました。

町民が健康であることが、まちづくりの基本です。

はじめよう、まずは体を動かすことから

広原グラウンドゴルフクラブの皆さん

会員35名で最高齢91歳~64歳、平均年齢77.4歳のメンバーで、毎週日曜日の午後1 時から広原小学校の運動場で練習をされており、この日は月1回の大会で20名の皆さんが集 まり、和気あいあいの中で大会が行われました。中央は今月優勝された江田支征さんです。

昨年は、宮崎県大会でクラブメンバーの斉藤壽美江さんが優勝され、県代表として令和元年 11月9日に行われた全国大会"紀ノ國和歌山ねんりんピック"に参加されました。

又、今年1月23日・24日に宮崎県運動公園で開催された、神話の里グランドゴルフ大会 夫の重盛さんがパートで優勝されました。他の皆さんもそれぞれの大会で優勝経験をされ た方も多数おられて、大変元気な活気のある皆さんでした。



4金受取人払郵便

都城郵便局 承 認

574

差出有効期間 令和3年9月 30日まで (切手不要)

切り取り線

便はがき

8 9 4 9

(受取人) 高原町大字西麓899番地

高原町役場 議会事務局 議会だより編集委員会 行

ふりがな

ご氏名

火圧々	太圣胡	+ 10	고 ఓ스	はご記	7 /	だナル	`
※ 垤 右	ど他半	211	る場合	はし配	\wedge	1500	١,

(〒 ご住所

お電話

続き誰 れています。できる事から始めませんか?活から取り入れ意識を変えていくことが求めら 取り入れられております。 ない中での作成となりました。 を変更したり、 組んで参ります。 目標として国連で採択され現在多くの機関でも 続可能な開発目標) 感想などをお待ちし する課題と向き合って参りまし 皆様の負託に応えるべく議員 会審議を終え1年目が終了となりまし ◇令和初となる新議会体制も、 ルと169のターゲットで構成され身近な生 議会への提言・疑問・質問等議会だよりので、広く意見を頂けるように投書可能な形が中での作成となりました。新しい取り組み 一人取り残さない高原町を目指して取り できる事から始めません 読みやすさを重視したりと慣れ。◇議会だよりでは、タイトル は、2030年までの取組 つております。◇SDGs(持 SDGsは、17 た。今後も引き で5回の

Ш

のゴ